

2月2日（金）節分・豆まきを行いました！

松前柔道塾では、日本の文化を学ぶため、伝統行事を教室の中に組み込み体験する機会を設けています。

2月2日（金）はクラスI・II合同練習後に「節分・豆まき」を開催。約40名の塾生が参加しました。

橋本敏明塾監が節分の意味を説明した後、現れた2人の鬼に福を呼び込もうと力強く豆をまきました。豆まきの後には、保護者の方々から福豆をもらい、「今年の良い一年になりますように」と祈りながらみんなで福豆を食べました。終了後は、6年生を中心に柔道場の掃除もしました。お手伝い頂いた保護者の皆様ありがとうございました。



昇級審査報告

2月19日（月）、20日（火）、22日（木）、23日（金）に、2017年度第3回目の昇級審査が行われ、下記9名の塾生が昇級しました。

オレンジ帯合格 金村尚明（幼年）
（6級）

黄帯合格（5級） 渡部日輝太（2年）

青帯合格（4級） 飛塚蒼輔（5年）

緑帯合格（3級） 金村尚俊（4年） 花森未奈（5年） 中野拓海（5年） 塩坂和馬（5年）

紫帯合格（2級） 安藤雅姫（4年） 佐藤壮泰（4年）

合格おめでとうございます！（敬称略 順不同）

第21回チャレンジ教室（トレーニング）

第21回チャレンジ教室を、2月26日（月）、東海大学体育学部競技スポーツ学科准教授の赤羽綾子先生と東海大学体育学部の学生3名を講師にお招きし開催しました。

前半は、体の四肢（両手足）を浮かせてバランスをとる運動や雑巾を利用した競争など、体のバランスや柔軟性、体幹に力を入れた状態で四肢を動かすトレーニング。後半は、普段から行っている回転運動を部位ごとに分解して踏切の練習、四肢をリズムに合わせて浮かせる背筋運動など、回転運動の基礎を体の細部まで意識しながら行いました。

最後に、現役体操選手（体操競技部部員）の斎藤さん、泉さんがハンドスプリング、後方宙返り（バク宙）を披露。「良い見本を見た後に、すぐ真似ができる人は運動神経がよい人」と、赤羽先生が伝えると、塾生たちは本物のハンドスプリングを真似しようと必死になってチャレンジしていました。

赤羽先生は「柔道の『柔よく剛を制す』という言葉は、体操競技にも共通するところがあります。力を使うのではなく、体の柔らかさを十分に利用して競技力の向上を目指してください」と塾生に伝えてくれました。



ひな祭り柔道講義

2018年3月2日（金）に田知本愛選手（2010年度東海大学体育学部卒・総合警備保障株式会社）が来塾し、ひな祭り柔道講義を開催しました。

田知本選手は幼少期時代に週1回の1時間の練習をしていた話や得意技の披露をしてくださいました。また、国際大会での経験を含めモチベーションの上げ方や試合に向けての準備などを対話形式で話しました。



望星学塾リーダー研修

2017年度望星学塾リーダー研修会を3月9日（金）・10日（土）の2日間で開催しました。東海大学柔道部で少年柔道の指導に携わる学生や将来教員を志望している学生が参加し、柔道稽古の実践指導を行いました。



2017年度終業式

2018年3月16日（金）に2017年度松前柔道塾終業式及び懇親会を行い、塾生・保護者・来賓他、総勢164名が出席しました。

終業式では、柔道歌を元気よく斉唱した後、橋本敏明塾監が挨拶。塾生を代表して中村莉子さん（小学6年生）へ修了証書を授与しました。塾生代表挨拶では、牧口択夢君（中学3年生）が、今まで松前柔道塾で学んだことや、感謝の気持ちを語りました。最後に、2017年度学生指導員の梅澤真仁先生・矢澤賢人先生が、新学生指導員の石田隼太先生・仲島拓志先生と固い握手を交わし、指導員を交代しました。

懇親会では、塾生一人一人が今年度の反省や次年度の目標を発表。その後この春に卒園・卒業する塾生が挨拶、記念撮影を行いました。そして、2017年度学生指導員の梅澤真仁・矢澤賢人両先生は一年間の思い出と感謝の気持ちを話しました。また、2018年度より東海大学静岡翔洋高等学校中等部に異動になる朝比奈竜真先生が挨拶。7年間の思い出話や、激励の言葉を述べました。

